

令和7年第5回（9月）筑紫野市議会定例会
第3回決算審査特別委員会

○日 時

令和7年9月10日（水）午前10時00分

○場 所

第1委員会室

○出席委員（22名）

委員長	横尾秋洋	副委員長	西村和子
委員	田中允	委員	辻本美恵子
委員	上村和男	委員	赤司泰一
委員	高原良視	委員	原口政信
委員	白石卓也	委員	宮崎吉弘
委員	山本加奈子	委員	八尋一男
委員	城健二	委員	古賀新悟
委員	坂口勝彦	委員	段下季一郎
委員	前田倫宏	委員	檜木孝一
委員	佐々木忠孝	委員	吉村陽一
委員	赤司祥一	委員	春口茜

○欠席委員（0名）

○傍聴議員（0名）

○出席説明員（10名）

総務部長	嵯峨栄二	財政課長	高木伸泰
財政担当主任	本田潤平	企画政策部長	宗貞繁昭
こども部長	嘉村千穂	市民生活部長	杉村真子
健康福祉部長	坂田浩章	教育部長	濱崎博文
建設部長	深見勝彦	環境経済部長	平嶋顕治

○出席事務局職員（3名）

局長	荒金達	課長	高木美智子
主事	井形光介		

開会 午前10時00分

○委員長（横尾秋洋君） おはようございます。

委員がおそろいですのでただいまから第3回決算審査特別委員会を開会いたします。

議題1の集中審査事項の抽出を行っていききたいと思います。

抽出方法は資料1及び決算資料の内容を確認しながら、1項目ずつ検討していききたいと思います。

決算審査資料を見て、改めてお聞きになりたいことがあれば、具体的な内容を各議員から申し出てください。その場合、審査の対象といたします。

138項目ありますので、大体これを80項目ぐらいまでに絞り込みたいと思いますので、内容をチェックしていききたいと、そういうふうに思います。

では、8ページから入っていきます。

8ページから15ページの事業成果一覧に記載の契約に関する落札金額と予定価格、事業者名と落札率ということですが、改めて審議されますか。

市民会議の皆さんはどなたが取りまとめるでしょうか。

○委員（辻本美恵子君） はい。

○委員長（横尾秋洋君） 全般の8ページから15ページはいいですね。

次の16ページに行きたいと思います。16ページは、国県からの補助金一覧、歳入における国県それぞれの補助金の割合であります。

市民会議から要求が出てますが、皆さんどうですか。

資料でいいですね。

それから17ページの都市計画税の使途ですが、いかがでしょうか。

資料でいいですね。

それから18ページ。金額が大きい委託業務の金額、上位10業務。この資料でいいですか。説明を求めますか。

ごみ収集事業とかふるさと応援寄付金とか、実際の審査内容の中で聞くことはできませんかね。

ちょっとこれ置いときます。

それから19ページの普通建設事業費過去10年分の推移。

これいいですね。

それから20から21ページ一千万円以上の不用額が発生した事業とその理由、市民会議から出てきてます。呼びますか。

○委員（辻本美恵子君） お願いします。

○委員長（横尾秋洋君） では呼びましょう。

それから22から23ページの区長に関する事務事業、各行政区の内訳、つくし野と市民会議から出ています。どうしますか、来てもらいますか。

○委員（八尋一男君） はい。

○議会事務局主事（井形光介君） 委員長すいません。呼んでどんなことを聞きたいかを、部長もいますので、聞いていただければと思うんですけど。

○委員長（横尾秋洋君） 一千万円以上の不用額が発生した事業とその理由については、どのような説明がありますか。

○財政課長（高木伸泰君） 記載している理由を説明します。

○委員（辻本美恵子君） 理由が記載されているもののみであれば説明は結構です。

○委員長（横尾秋洋君） 八尋議員。

○委員（八尋一男君） この均等割と世帯割の関係ですけど、この今非常に小さいところの区長さんというのは仕事が多くなってきた。

その割に区長に從來から変わらない均等割、そして今度は大きいところが大きいところで、次のページもありますけど、事務員さんの事務員補助費ですね、これとの関係で、小さいところの区長さんは非常に今、多忙をきわめておるといような形で、もう少しこの内容を再検討する必要があるんじゃないかといような形でこれについてはもう少し説明をしてもらいながら議論を深めたいなというふうに思ってます。

○委員長（横尾秋洋君） そしたら報酬だけしか載ってませんので、この行政区別に世帯数と人口ぐらい添付させて比較しないとよく分からないと思いますので、追加資料という形で、人口世帯割の分を出してもらいましょうかね。

○委員（八尋一男君） それとあわせてこの際、区長業務の内容も整理しておく必要がありろうと、区長と自治会長も含めてですね、皆さんと一緒に内容を共有したらいいかと思えますのでよろしくをお願いします。

○議会事務局長（荒金 達君） 資料要求をして資料が出てきてますので、この場でさらに資料要求ということではなく、当日議論して、その必要があったら追加資料という形をいつもとっていると思うんですけど。

○委員長（横尾秋洋君） これがあったほうが議論しやすいかなと。再度資料要求で同じことを言って、そこから準備した方が執行部としてもいいんじゃないかと。

だからこれだけ議論しよったら大体例えば人口どれだけですとか、世帯数何人っていうような形になってきて、またそれ資料その場で要求して出すよりも、これ今回の敬老会の分の中でいろいろ資料ができてますんで、それはただ添付してもらっただけでいいと思うんで。それちょっと言っておいてくれませんか。

次の24ページから25ページの区長事務補助員事務費補助事業もこれも一緒にいいですねここで。

次は交通事故件数及び対策内容ということで、26ページ。

○委員（赤司泰一君） お願いします。これはちょっと簡単に言いますが、今回朝倉街道駅の事故とかあった中で、まず一つがこの交通事故件数とかそういうデータもいいんですけど、やっぱりその危険箇所っていうのをデータベースというものを今西日本新聞とか作ってるんですね。そういうのを把握しながら、例えば今後、今交通安全パトロールとかいろいろやってますよね。それが結局市民の行動に移ったりとか、或いはその危険箇所を改良していくっていう、要するに改善とかそういうふうに向けての検証というんですかね、そういうのに繋がるんじゃないかということで、そういうことを聞きたいなというふうに思ってますんで。

○委員長（横尾秋洋君） 次、27ページから29ページの防犯灯補助事業。それから防犯カメラも一緒に共通ですね。

どうでしょうか説明求めますか、

○委員（坂口勝彦君） 説明をお願いしたいと思います。これ増加傾向にあるんですよ。増加傾向にあると思うんですけど、2つともなんですけど防犯灯とカメラですね、カメラ設置の相談等とか増えているかっていうその状況を確認したいと思います。

○委員長（横尾秋洋君） 次は34ページの消費生活対策一般事務事業、相談内容の内訳と対応。段下委員。

○委員（段下季一郎君） はい。呼んでもらいたいと思います。

聞く内容としては、振り込め詐欺の被害に遭ってる高齢者の方が多いので、その対策というか、その相談先としてこういうところがあるんだっていうことをどのように周知しているのかということについてお尋ねしたいと思います。

○委員長（横尾秋洋君） はい、では次のページいきます。

35ページ一部事務組合の負担金の推移。この資料で分かりませんか。説明を求めますか。いらないですね。

次の公共施設のガス代、電気代一覧、他に何か説明求めますか。

○委員（辻本美恵子君） はい。お願いします。

電気代が全体的に上がってきてる中で、どのように工夫しながら落としていかなければならないのかというところで、話したいと思います。

○委員長（横尾秋洋君） それから、37ページから38ページの市営住宅の使用料ですが、資料でOKですね。

それから歳入で土地売り払い収入の内訳。39ページ、これは資料で大丈夫ですか。

説明を求めますね。

○委員（赤司祥一君） はい。具体的な場所だったり経緯を聞きたいです。

○委員長（横尾秋洋君） 次は40ページ公用車集中管理事業。市民会議の方から出てます。

これ内容分かりませんか。

○委員（白石卓也君） 事故が頻発してるんで、その辺の対策がどうふうになってるのかと、もう少し担当課と話をしていきたいです。

○委員長（横尾秋洋君） それから41ページの公営住宅等長寿命化計画事業は、この資料で分かりませんか。段下議員。

○委員（段下季一郎君） この住宅が戸数として解体してるので、減った分に対して次どうするかっていうことを予算のときも聞いてましたけど、それがまず1点目、2点目がこういう改修工事してるんですけども、断熱についての方針をお尋ねしたいと。

○委員長（横尾秋洋君） それから42ページから43ページ。古賀議員。

○委員（古賀新悟君） お願いします。

これは進捗と今後の見通しを少し伺おうと思ってますので。

○委員長（横尾秋洋君） これは進捗結果やから、この結果を受けて次年度どうなるかという感じなんですけど。

○委員（古賀新悟君） この内容で分からないので来てくださいということをお願いします。進捗とそれから一般対策への移行というところの道筋ができるかどうかというところも聞いておきたいので。

○委員長（横尾秋洋君） 44ページ、男女共同参画推進一般事務事業、プラザの利用状

況。

○委員（辻本美恵子君） お願いします。

御存じの方いらっしゃると思いますが、生涯学習センター1階の一番奥に男女共同参画プラザというコーナーがあります。空いてるときは団体が使えるようになっていますが、この夏、クーリングシェルターのように生涯学習センターを活用される方がいたので、せっかく大きな建物であるので、他の方もそこを使えないのかというはなしをしていきたいと思っています。

○委員長（横尾秋洋君） はい、次の45ページは、来ますから聞きますか。

それから46ページは女性に対するあらゆる暴力の根絶事業、相談内容について。ここま
で聞きますね。

部が変わります。

○企画政策部長（宗貞繁昭君） 皆さん、おはようございます。

企画政策部の宗貞でございます。

9月議会の決算の集中審査課の抽出、どうぞよろしく願いいたします。

○委員長（横尾秋洋君） では、早速、ふるさと応援寄附金の状況ということで47ページから85ページ。山本議員。

○委員（山本加奈子君） 来ていただきたいのが、5コースごとの寄附額がどのコースにしている人が多いのかとかいうのも聞きたいです。

コースが選べるじゃないですか、寄付するときに。子育て支援とか観光振興とか福祉とか市長お任せとかあるので、コースごとの内訳を聞きたいです。

○委員長（横尾秋洋君） 86ページから89ページの生活交通対策事業。

これもどうするか聞きますね。

それから90ページから93ページ、コミュニティバス等運行事業。

94ページから95ページの地域公共交通従事者確保育成支援事業も出てきています。

これは普段やっているとこですから来て説明もらいましょう。

96ページから97ページの高齢者運転免許証自主返納等支援事業。

○委員（坂口勝彦君） はい。これお願いしたいと思います。支援が1回きりなんなんですけど、ちょっとその辺の話を聞きたいと思います。

○委員長（横尾秋洋君） はい。分かりました。では来ていただきましょう。

98ページの休職者数。段下議員。

○委員（段下季一郎君） これ休職者数が減ってることは評価したいんですが、引き続きこの方々に対してどういうフォローアップをしているのかっていうこととかですね、そういうことについてお尋ねしたいと思います。

もう1つ、育休ですね、男性育休のこれに取得者数は出てるんですけど、ちょっと延べの日数ですね、平均でどれぐらい1人当たり取得しているのか。ということもあわせてお尋ねしたいと思います。

○委員長（横尾秋洋君） 来ていただきましょう。

99ページの職員研修事業。この内容で分かりませんか。もっと詳しく聞きますか。

○委員（春口 茜君） この研修制度で十分なのかっていうのを、あと大体タイトル見たらどんなものか分かるんですけど、他に何か課題だったりとかがあるのかどうか、こういう研修を入れたらいいという要望とかがないのかっていうのを伺いたしたいと思います。

○委員長（横尾秋洋君） 要するにこの内容を知りたいってことやろ。

いいですか。

では杉村部長が来られましたので、ご挨拶いただきましょう。

○市民生活部長（杉村真子君） おはようございます。

市民生活部杉村です。決算審査どうぞよろしく願いいたします。

○委員長（横尾秋洋君） 100ページから、これは三会派も出てますね。コミュニティ運営協議会補助事業。

○委員（坂口勝彦君） お願いします。

市の補助金以外の自主財源の確保とか、そういった取り組みはされてあるのかとか聞きたいと思います。

○委員（八尋一男君） これは総務市民委員会でも検討した内容ですけど、会長さんたちとの懇談会の中で、この5100万というのはずっと不足してるというような内容で、受けてました。

そんな中で今回も同じというような形ですから、その辺りのことを各コミュニティが満足されていないと思うんで、その辺の内容を議論したいなと思います。

○委員長（横尾秋洋君） それから102ページ市税滞納者の滞納額ということで、田中議員から出てきております102ページですね。

○委員（田中 允君） その理由ね。この滞納の理由。

○委員長（横尾秋洋君） 何でこんなに滞納しているのかという理由を知りたいというこ

とですので、これは説明してもらいましょう。

どうもお疲れ様でした。

こども部はたくさんあるようですので、嘉村部長にご挨拶をいただいて進めたいと思います。

○こども部長（嘉村千穂君） おはようございます。

こども部の嘉村でございますよろしくお願いいたします。

○委員長（横尾秋洋君） 103ページから104ページの各保育所ごとの定員。

どうでしょう。市民会議の皆さん、この内容で分かりませんか。

○委員（上村和男君） 来てもらえますか。

○委員長（横尾秋洋君） どういう話を聞きたいですか。

○委員（上村和男君） 待機児童ゼロにどうやって向かっていったかというのを、お聞きしたいです。実際、長い間そういう議論をして、議会としてもやってきています。一般質問でもやられています。それが決算でどうなったか聞きます。

○委員長（横尾秋洋君） はい。そういうことで説明していただきますと。

105、106ページ、会派つくし野から出てます。前田議員。

○委員（前田倫宏君） まず資料についてお尋ねでございますけれども、会派で財政課とのヒアリングのときは3月末で要求してたものがなぜか4月1日時点になっているので、ここはちょっと改めていただきたいんですけど、どういった理由でしょうか。

資料要求してるのに対して何でこう違う資料が出てきたのか、ここでは聞かないと、作り直してもらえればそこからでもいいんですけど。会派つくし野は3月末時点の実数値を要求したんです。

なぜか今年度の4月1日時点になっているので何ですかって聞いているんです。

○委員長（横尾秋洋君） 決算だから3月31日だって、4月1日はもうほとんど今の翌年度になってきているから。

○委員（前田倫宏君） もう少し具体的に言いますと、今年の代表質問の中で、2月時点の答弁としては、保留となった児童が400人いらっしやったと。

なので私は3月末だとその400人の内訳がせめてここに入ってくるだろうと思ってるので、それを出してもらおうと、決算の話なので、令和6年度の話なので。それは事前からも財政課とのヒアリングでも申し上げたところであるんですけど、なぜ4月1日になってるかだけまず説明してもらっていいですか。

○委員長（横尾秋洋君） 嘉村部長。

○こども部長（嘉村千穂君） はい。

まず保育所申込者の一覧っていうのは、前田議員も御存じのとおり国で公表されている資料の一覧でございまして、そちらの方は4月1日時点の統計しか集計をいたしておりませんでしたものですから、3月31日時点での集計が取れていませんでしたので、4月1日のものを出させていただいております。

○委員長（横尾秋洋君） 前田議員。

○委員（前田倫宏君） それはもう財政課のヒアリングの際に申し上げてました。国の制度で自治体が県に出して国が取りまとめる情報の中で、それは4月1日時点というのは分かっています。

なので3月31日まで状況の実態を市は把握するべきじゃないですかっていうところも含めて、3月時点で作ってくださいって申し上げたんです。

それは財政課の皆さん分かっていますよね。なぜそこから変わってるんですかこれ。

○委員長（横尾秋洋君） これは3月31日時点では出せないってことかな。

○委員（前田倫宏君） 集計出せますよ。集計すればいいだけの話だけど。

○委員長（横尾秋洋君） 嘉村部長できない理由か何かあるんですか。

○こども部長（嘉村千穂君） はい。

集計の中で、3月31日時点で把握ができていないものが項目の中にございます。

基本的に3月31日時点というのは集計をとっておりませんので、出せないというのが理由なんですけども。

例えば先ほど言われたみたいに集計したらできるんじゃないかということもございまして、ただそもそも全く把握が4月1日時点以降には把握をしていない数字もございまして、出せないということでお話をしております。

○委員長（横尾秋洋君） 嘉村部長、こういうことかいな、保育所の申込者数で3月31日ということはもう翌年度に入ってくるから学年が1つ進んでいってしまうから、もう過去のやつは取ってませんということか。

○こども部長（嘉村千穂君） そうですね。この統計自体が4月1日の待機児童を把握するための統計ですので、3月31日時点は言われたように、この統計をとっていないというところはございます。

○委員（前田倫宏君） 4月1日にまとめるから、とりあえず調査して出せばいいという

問題じゃないと思います。その辺、実態は把握してないということで、第七次総合計画の重点施策に位置付けがありますので、やっぱり年内に待機児童が発生するということが問題であると、そこは年度末、国が取りまとめてないから出さないということではなくて、やっぱり市としては積極的に情報把握すべきだと。

3月31日に数字がどんどん累計して多くなってるんですね。令和6年度の待機総数は結局どうだったのかが重要だなと私は思ってます、そこはしっかり示していただかないと納得いかないですね。

○委員長（横尾秋洋君） 要するに4月1日が始まって3月31日で終わるから、これが3月31日に締めてなくてまた4月1日だったら翌年度になっとるから、もう1年経ってしもうとるから意味がないと、令和6年度のときの最後の締め切りはどうなっとるかということを知りたいと。嘉村部長。

○こども部長（嘉村千穂君） 言われますように、4月に申し込みをして、3月31日まで待機の方もいらっしゃいますし、11月に申し込んで4月1日から入所される方もありますので、3月31日時点では待機であっても、例えばさっき学年が変わるのでというところで、4月1日から入所できている人もいらっしゃいます。

ただ、そういうことではなくて3月末を調べないといけないんじゃないかというふうにおっしゃってるんですね。

ですけど、企業主導型にいてある人数であるとか、求職活動をしているしていないというのをですね、個別にお手紙を出して調べたりしていますので、この中で把握ができていない数字がございます。

○委員長（横尾秋洋君） 2月時点で404名という数字が出とった。じゃあこれは3月31日からこの400名がそのまま400名なのか、ちょっと減って350名ぐらいになっとるのか、そして翌年度に入ったら制度がころっと変わってその人たちが全部入るようになったから4月1日にこのデータが出てきたという感じになろうかと思うけど。嘉村部長。

○こども部長（嘉村千穂君） 3月31日時点で、先ほども言いましたように正確に統計を取っていないということもあって正確に出せないものがあると思いますので、努力してくださいということを今言われましたので、今から集計するとなるとですね、数字が少し正確でないものも出てくるかもしれませんが、3月末というところで、分かりました。資料お出しするということですね。

○委員長（横尾秋洋君） 次年度も多分同じような形が出てくると思うから、4月1日始ま

って3月31日どう締め切ったか。翌年の4月1日スタートして、3月31日で締めていくという形になろうと思いますので、できるだけ努力をお願いします。

それから次107ページですね、待機児童数筑紫地区他市との比較、これ田中議員。
これ以上何かありますか、これでいいですかね。

それから108ページをご覧ください。保育所運営費保護者負担金、これは説明してもらいますか。高原委員。

○委員（高原良視君） 未満児やらの考え方を、市独自のことを考えていかないかんと思います。そういうのを求めます。未満児の人をなしにするとか。

○委員長（横尾秋洋君） 未満児の保育料についてのご質問があるということ。
赤司議員。

○委員（赤司祥一君） 結構まだ残ってますけど、令和3年から4年にかけて一気に4000万ぐらい回収できてるんで、ここでガーッと減らせてそこからまたじわじわあんまり減ってないっていう。ここら辺の経緯というか、詳しくお聞きできたらと思います。

○委員（前田倫宏君） あと、令和6年度においては収納対策がなされたというところが、具体的にどれだけ回収できたのかという説明をお願いします。

○委員長（横尾秋洋君） 次行きます。

109ページの母子寡婦福祉会助成事業、市民会議から出てます。春口議員。

○委員（春口 茜君） 課題をお伺いしたいと思います。

○委員長（横尾秋洋君） 次110ページ。養育費確保支援事業、実績。三会派から出てます。山本議員。

○委員（山本加奈子君） はい。お伺いしたいのが、申請猶予の延長とか着手金の確認とか、課題があるかないのか。確認したいと思います。

○委員長（横尾秋洋君） 111ページ。こども食堂。市民会議、この内容で分かりませんか。春口議員。

○委員（春口 茜君） 予算額と決算額が違うので、その内容をもう少し詳しくお伺いしたいと思います。

○委員長（横尾秋洋君） 112ページ保育料徴収事業、内容と実績。市民会議と公明党から出てます。どういうことを聞きたいですか。

○委員（辻本美恵子君） 新しく徴収事業を始められているので、事業内容をきちっと聞きたいです。

○委員長（横尾秋洋君） はい、じゃあ次いきますね。

113ページの届出保育施設健康診断費補助事業の項目出てます。どうですか。

もう資料でいいですね。

それから、114ページの病児保育事業、広域利用を含めた実績。市民会議から出てきます。

はい。春口議員。

○委員（春口 茜君） 申し込み数が載ってないので、内容を詳しく伺いたいと思います。

○委員長（横尾秋洋君） はい。段下議員。

○委員（段下季一郎君） 以前の委員会ของときもお話しましたが、県の補助金を活用して新規に施設整備することも検討していないのかということをお尋ねしたいと思います。

○委員長（横尾秋洋君） 呼びましょう。

しかし、たくさん市民会議から項目が出てきてますけど、相当多いんでね、ちょっとそれも含めながら、協力をして欲しいなと思います。

次は115ページ。延長保育事業費補助事業、この一覧で分かりませんか。

西村副委員長。

○副委員長（西村和子君） 全体として増加傾向にあると思うんですね。

女性の働き方がやっぱりだんだん変わってきて、どんなふうな現状から課題をどんなふうに見られているのかというのをちょっとお尋ねしたいと思います。

○委員長（横尾秋洋君） 内容の分析ですね。嘉村部長分かりましたか。

116ページ。届出保育施設運営費補助事業、実績、はい山本議員。

○委員（山本加奈子君） ほっこり保育園桜台の児童割のところはどうやって計算したらこの金額になるのかが分からなかったもので、ちょっとお尋ねしたいです。

○委員長（横尾秋洋君） 嘉村部長いいですか。

もうこの辺淡々と説明してくださいね。

117ページ地域子育て支援センター事業、実績。市民会議。聞きますか。いいですか。

いいですね。

はい118ページ、ファミリーサポートセンター事業。

○委員（春口 茜君） お願いします。まかせて会員とお願い会員の数がかなり差があると思うので、まかせて会員の集め方であったり周知をどのようにしてるのかを詳しく伺い

たいと思います。

○委員長（横尾秋洋君） 内容の説明ですね。次119ページ。

子どもの発達支援事業。

○委員（坂口勝彦君） 説明お願いしたいと思います。

適切な人材を任用することができない状態で、近隣の委託可能な事業者とかがっているのを検討しているのかどうかという確認をしたいと思います。

○委員長（横尾秋洋君） はい。段下議員。

○委員（段下季一郎君） 人数、相談件数が減少傾向にあるのはやっぱそういうの兼ね合いがあるのかということをご説明をお願いします。なというふうに思います。

○委員長（横尾秋洋君） 嘉村部長分かりましたか。

次が120ページ。これも公明党、市民会議から出てきてます。

○委員（坂口勝彦君） お願いしたいと思います。

相談数が増えていくことになると思うんですけど、その相談の内容と、また相談員の負担があると思うんですけど、そこら辺の対応はどのようにされているのかの確認をしたいと思います。

○委員（段下季一郎君） こども家庭センター、新しくできたと思うんですが、うちが資料でお願いしてたのが、この人員配置をお願いしてたんじゃないかなと思うので、それがここの資料に入っていないみたいなので、ちょっと口頭で構いませんので、説明していただければなというふうに思います。

○委員長（横尾秋洋君） 121ページに行きます。母子生活支援施設実施事業、これは公明党から出てます。

この資料で分かりませんか。いいですねこれで。

次の122ページ。これは公明党さんから出てます。助産施設実施事業。これで分かりますね。

123ページ。これも公明党さんから出てます。いいですね。いいですか。山本議員。

○委員（山本加奈子君） 昨年ときにはこの母子生活支援施設ここ入ってなかったんですけど、今回ここ入っているから、結構かなりの利用者がいるのでその辺をお尋ねしたいと思います。

令和6年度の決算資料のときに母子生活支援施設っていうのが入ってなかったんですよ

ね。

○委員長（横尾秋洋君） これは6年度新規事業かな。

嘉村部長。

○こども部長（嘉村千穂君） 6年度から委託施設が増えているというところでございます。その委託を増やしたところの内容ということでよろしいでしょうか。

○委員長（横尾秋洋君） それならこれを聞きますね。

124ページ、市民会議から出てます。段下議員。

○委員（段下季一郎君） これ資料要求のときの説明が悪かったんじゃないかなと思ってんですけど、接種者減少の理由を書いていたんですけども、一番下の出生数の減少に伴い低年齢の対象者が減ったため、すいません、対象者に対するこれ割合が減ってるんじゃないかってことで出してもらってると思うんですけど、対象者に対してこう減ってるっていう、この要因をもう少し聞きたいとかそのワクチンが危ないんじゃないかみたいな言説が今ネット上でかなり出てるので、そういったのを打ち消すような市としての広報が必要じゃないかということちょっと聞きたいなというふうに思っております。

○委員長（横尾秋洋君） 次は125ページ。

産後ケア事業、委託先一覧。

○委員（坂口勝彦君） お願いしたいと思います。

ニーズの状況とサービスの拡充の検討はもちろんされてると思うんですけど、アウトリーチ型にしての効果があると思うんですけど、その辺のことを聞きたいと思います。

○委員長（横尾秋洋君） 部長いいですね。

126ページ。出産・子育て伴走型応援事業、はい、西村副委員長。

○副委員長（西村和子君） 伝え方がちょっと悪かったのかなと思うんですけど。

今年からの新規事業だと思うんですけど、母子手帳をもらうときから、出産応援給付金とかアンケートに答えると応援給付金がもらえるとなってたと思うんですけど、そこら辺が順調にいつてるのかどうかということをお尋ねしたかった。

○委員長（横尾秋洋君） 大変でしょうけど。要領よくと回答してもらうように、まとめ方をよろしくをお願いします。

休憩しましょう。

休憩 午前11時00分

再開 午前11時10分

○委員長（横尾秋洋君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

坂田部長がお見えですのでご挨拶いただいて進めていきます。

坂田部長。

○健康福祉部長（坂田浩章君） お疲れ様でございます。健康福祉部坂田です。本日はどうぞよろしく願いいたします。

○委員長（横尾秋洋君） 127ページ。

予防接種事業、接種実績減のものということで、市民会議から出てます、この内容で分かりませんか。

はい。段下議員

○委員（段下季一郎君） 対象者に対して実績が分かればその減少してる割合とかも出ると思ったので、そこまで聞いとけばよかったですけど。

この理由ですね、高齢者の方でワクチンが危険だみたいな、そういうことを言ってる方が増えてるようなのを実感してるので、それを打ち消すような広報についてどのように考えてるかってことをお尋ねしたいなというふうに考えております。

あと要因についても、物価高の影響かもしれないし、そういう風説かもしれないしってということで、何か分かってることあれば答えられれば。

○委員長（横尾秋洋君） 部長分かりましたか内容は。淡々と答えていっていただくようお願いします。

128ページ。トレーニングルーム。春口議員。

○委員（春口 茜君） 実人数出していただいたんですけども、やっぱり年間で数えるところの人数少ないなと思うので課題を教えてくださいと思います。

○委員長（横尾秋洋君） いいですか。次129ページ。健康づくり推進事業。市民会議から出てます。辻本議員。

○委員（辻本美恵子君） トレーニングルームのこともそうなんですけれども、市全体の健康づくりに対するそのプログラムが少なく、もう少し健康づくりに取り組むべきではないかなという視点でお話をしたいと思います。

やっぱり健康な人が増えると医療費の削減に繋がるので、施策としては重要なことではないかなと思っていますので。

○委員長（横尾秋洋君） そしたら130ページも一緒ですね。131ページ。総合保健福祉センター管理運営事業。

○委員（辻本美恵子君） これも辻本です。

○委員長（横尾秋洋君） はい。132ページ、巡回福祉バス運営事業。
西村副委員長。

○副委員長（西村和子君） デマンドバスが利用開始になって、このカミーリヤ号の利用がどのくらい減ったかを確認して、今年度のルートによってどう変化するのかを推測をちょっと聞いてみたいと思う。

○委員長（横尾秋洋君） はい。八尋議員。

○委員（八尋一男君） はっきり言うたらもう空気を運ぶようなもんですよ。それで行きたいところに行けないという、これの必要性を少し論議したいということです。

○委員長（横尾秋洋君） 決算を受けてね。坂田部長いいですか。
133ページ。

○委員（坂口勝彦君） はい。福祉委員の人数が足りているのかということと、また各コミュニティ協議会との連携を視野に、何か新たな福祉活動とかは検討されているかどうかをお尋ねいたします。

○委員長（横尾秋洋君） はい。134ページ。これも公明党さんですね。

○委員（坂口勝彦君） 今後、認知症の高齢者の方が増えていくと思うんですけど、成年後見制度の周知は、どのようにやっているかっていうのも書いてあるんですけど、ちょっとここをお尋ねしたいと思います。

○委員長（横尾秋洋君） 135ページ、市民後見人養成研修事業。

○委員（坂口勝彦君） はい。これ修了生がおられると思うんですけど、今後の活動をする場をどういうふうに設けていくのかっていうところの確認をしたいと思います。

○委員長（横尾秋洋君） いいですね。

136から138ページ。ふれあいいいききサロン補助事業、どうですか。

はい。段下議員。

○委員（段下季一郎君） これ決算で例年聞いてると思うんですけど、子育てサロンがやや少ないのではということで、増やすための具体的な取り組みについて、この効果と今後の取り組みについて、課題についてお尋ねしたいと思います。

○委員長（横尾秋洋君） 部長いいですね。じゃあ次139ページ、住民税非課税世帯への

物価高騰支援給付金支給事業。資料でいいですね。

140から141ページ。資料でいいですね。

142、143。資料でいいですね。

144、145ページ公明党さんから出てます。

はい山本議員。

○委員（山本加奈子君） はい。紙おむつ等というのがあるんですけどもここの対象の要件の確認と、あと近隣市の紙おむつの対象、どういう対象になっているのかも聞きたいと思います。

○委員長（横尾秋洋君） 部長いいですね。146ページ、福祉タクシー料金助成事業。

八尋議員。

○委員（八尋一男君） 1つは事業者と利用者の聞き取り調査をしますという形で前回答弁いただいたとったんで、その内容がどういうふうにしたのかと、もう少し詳しく言うと、利用されてる人と利用されてない人、余る人がたくさんおって足らん人がたくさんおられるという形で、そういうんだったら足りない人にもう少し増やしたらいいんだというように思いがありますということをお話したいと。

○委員長（横尾秋洋君） 次の147ページ。食の自立支援事業、公明党さんから出てます。この内容でどうですか。山本議員。

○委員（山本加奈子君） 見守り費用は年々少しガソリン代とかがあるからかなと思うんですけども、弁当代が上がってなくて、ちょっと負担があるとは思いますが、物価高の状況もあるので、その辺のことをお尋ねしたいです。

○委員長（横尾秋洋君） 148ページ。これも公明党さんですね、山本議員。

○委員（山本加奈子君） かなりの相談件数なので、いろいろこのまちづくりの助成金の対象になってるからだとは思いますが、今後このままでいいのかなって疑問もありますのでお尋ねしたいと思います。

相談件数に対して30万円が限度というのは分かるんですけども、人件費が出ないとかいうのは分かるんですがこのままで本当にいいのかっていうちょっと、疑問がありますのでお尋ねします。

○委員長（横尾秋洋君） 149ページ、資料でいいですね。

150ページ、資料でいいですね。

151ページ。これはつくし野、市民会議から出てます。生活保護に係る福祉事務所の実

施体制及び法務調査活動の状況。

これどういうことを聞きたいですか。

はい。辻本委員

○委員（辻本美恵子君） 生活保護からアドバイスしながら生活がきちんとできるようなところをする方の体制が、非常に厳しい。

回数を見ていると厳しいのではないかなというところで、もう少し寄り添えるような体制に繋がるようなところをつくれなかなという視点でお話をしたいと思ってます。

○委員長（横尾秋洋君） つくし野何かありますか。前田議員。

○委員（前田倫宏君） 以前、配置人数に対する1人当たりの訪問実績というか、ケースワークが回っていかれるのが今の状況数がちょっと少なかった経緯があったかと思うので、現状足りているのかという現状を教えてくださいと思います。

○委員長（横尾秋洋君） 次は152ページ。これは市民会議と公明党から出てます生活困窮者自立支援事業。坂口議員。

○委員（坂口勝彦君） これは相談者からの内容に応じて関係各課につなげていると思うんですけど、そのあとのフォローはどうなっているのかを確認したいと思います。

○委員長（横尾秋洋君） 次153ページから155ページ。高齢者在宅福祉事業、市民会議から出てます。この内容で分かりませんか。段下議員。

○委員（段下季一郎君） これ、周辺がやってないような珍しい事業だと思うんですが、もうちょっと周知が充実すれば利用者が増えるのではないかと思うので、下にある周知方法以外も検討すべきだということをお尋ねしたいと思います。

○委員長（横尾秋洋君） 156ページ、157ページ。シニアクラブ活動推進助成事業。

これで分かりませんか。西村議員。

○副委員長（西村和子君） 活動する団体がだんだん減ってきてるみたいなんですけれど、運営の支援とかが課題なんではないかと思えますけれど、課題についてどのように考えてるかちょっとお尋ねしたいと思います。

○委員長（横尾秋洋君） 春口議員。

○委員（春口 茜君） 活動内容とその内訳を伺いたいと思います。

○委員長（横尾秋洋君） 次が158ページ。御前湯高齢者入場料一部負担事業。

市民会議から出てます。削除していいですか。

159ページから161ページ敬老会運営費助成事業。

市民会議からです。何かまだありますか。

○委員（春口 茜君） 各自治体の活動内容をお伺いしたいと思います。

○委員長（横尾秋洋君） 敬老会の事業内容。どういうところがしてるかということですか。答えることができますか。

○健康福祉部長（坂田浩章君） 具体的に何を聞かたいのですか。

○委員（春口 茜君） 自治体任せに何をするかをされてると思うんですけど、主にどんな内容かっていうのを、聞いてると思いますので、その内容について伺いたいと思います。

○委員長（横尾秋洋君） 敬老会でどういう事業をしてるのか、行政区ごとに分かる範囲で答えてくださいということです。いいですね。

次162、163ページ。高齢者ネットワーク推進事業費補助事業。

これは公明党さんから出てますね。山本議員。

○委員（山本加奈子君） これすごくいい内容だなと思って、話し相手がすごく多いんですが生活支援もしてくださっているの、どういう生活支援をしてくださってるのか、あと、シニアクラブが全部はしてないですね。

全部シニアクラブ化してるわけではないので、するに至った経緯とかお尋ねしたいと思います。

○委員長（横尾秋洋君） 164ページ、地域密着型介護サービス事業者物価高騰対策事業。吉村議員。

○委員（吉村陽一君） 例えば認知症グループホームだったら11件とあるんですけども、そういったところの配分というか内訳の状況。あと、食費とかお米とかも急激に上がってきてるので、そういったところを何か事業所さんから声が上がっているとか、そういったところも含めてお伺いできたらと思ってます。

○委員長（横尾秋洋君） 健康福祉部坂田部長の管轄はこれで終わりました。

はい、濱崎部長、ご挨拶いただいて始めます。

○教育部長（濱崎博文君） おはようございます。

教育部の濱崎でございます。どうぞよろしくお願いたします。

○委員長（横尾秋洋君） 165ページです。各小中学校児童数の推移、市民会議から出てます。これでいいですね。

それから166ページ。つくし野から出てます小・中学校教室の空調設備設置状況。

前田委員。

○委員（前田倫宏君） 経年劣化も見られているかと思います。今後の整備方針であったり、計画であったりを説明していただきたい。またそれに加えて、今体育館の空調も議論になっておりますので、そこら辺の状況も合わせて説明していただきたいと思っております。以上です。

○委員長（横尾秋洋君） いいですか。167ページ、小学校管理運営事業。これは市民会議から出ます。この内容で分かりませんか。 春口議員。

○委員（春口 茜君） 不用額の活用について伺いたいと思います。

○委員長（横尾秋洋君） 部長分かりましたか。

○教育部長（濱崎博文君） 活用していない金額の活用ですか。

○委員長（横尾秋洋君） 上村議員。

○委員（上村和男君） 現場ではお金がないので、用意できませんでしたとか、身銭を切ってやっていますって話も時々聞くので、そういう中で不用額が出てるとすれば、その学校の中でそういうことが、いろいろできるような柔軟な対応はできていないのかっていうね。

不用額が出るくらいならそれを学校で運用できるような柔軟なことができていないのかということになっていきますので、不用額が出るっちゃうことは余ったっちゃうことでしょうから、何で余ったかっちゃうのも聞きますが、他に足りないところがあるという話も時々現場から聞くので、どうなってるかというふうに聞きますので、よろしく。

○委員長（横尾秋洋君） 予算額が6130万円に対して実績が5840万287万円の余裕が出ると。何でかということですね。

次は168ページ、つくし野から出てます。前田議員。

○委員（前田倫宏君） 今、総合体育館の議論もございますけれども、プールは検討しないということではありますが、小学校は先日委託する方針も出されて、今後中学校含めてどうされていくのかっていうところを、方針をお伺いしたいというふうに思っております以上です。

○委員長（横尾秋洋君） 169ページ。辻本議員。

○委員（辻本美恵子君） 毎年同じ資料出していただけてますが、文科省の方針にのっとって、どのような手順で進めていくかという、令和7年度の予算のときに1冊の単価のことを申し上げましたが、今回の決算を見ながら次年度の予算組みのときに、どういったとこ

ろまでそのことが配慮されていくのかも含めて、予定通りに冊数を増やしていくことが進んでいくかどうかを確認していきたいと思います。

決算だから、今から反映できるのは7年度じゃなくて、次の8年度になると思うんですけども、7年度予算のときに、文科省が出した標準冊数に向けて、着々と毎年800万円あまりの予算をつけていただいて、本が準備されていくんだけど、その時その時の1冊の単価が随分前のままであると。だから、20冊分を予算計上したところで、今世の中に流通している本の価格であれば15冊しか買えないけれども、それで予定通りの計画通りに今後準備していけるかどうかというところを、もう一度確認した上で今年度の決算で具体的に何冊の本が買うことができ、計画的には本当は20冊欲しかったけど、それを充実させるにはその次の予算にきちんと反映させないといけないということを議論できればいいかなと思ってます。

○委員長（横尾秋洋君） 170ページから171ページ、各小中学校児童・生徒、学年別学級数。この件は市民会議から出てます。これはこれでいいですか。

次の172ページ。学校別教職員欠員数の推移。

○委員（赤司泰一君） もう欠員の話はね、例年もずっと説明いただいた中で、2年前にもうちら5市での議長会でも要望書を提出させていただいて、市の方からもそういう要望をしたということで、ただこのデータ見るとやっぱり欠員が慢性的になってるかなということで、今、市が取り組んでいることの効果とか、今後の改善の方向性というかですね、どのように考えているのかっていうのも教えていただけたらなというふうに思っております。以上です。

○委員長（横尾秋洋君） 次173ページ、174ページの各小中学校の不登校、いじめ、暴力の実態。市民会議から出てます。説明を受けますか。

○委員（上村和男君） 説明を受けます。いろいろな欠員も含めて、学校の体制も十分なのかどうかというところもありますので。

○委員長（横尾秋洋君） 175ページ、児童生徒通学支援事業、公明党さんから出てます。これでいいですか。

176ページ、特別支援教育推進事業。市民会議から出てます。

○委員（上村和男君） はい。質問します。総合的な話しになってくると思います。

○委員長（横尾秋洋君） いいですか濱崎部長。

177ページ。これは公明党さんから出てます。

○委員（坂口勝彦君） はい。この事業の効果でですね、やや不満、不満が13%になるところが、これが改善していかないといけないのかなと思って、お聞きしたいと思います。

○委員長（横尾秋洋君） いいですね、178ページ。これはつくし野と市民会議から出ます。就学援助奨励事業。

○委員（赤司祥一君） 就学援助費は横ばいぐらいですけど特別支援教育就学奨励費は増えていってるので、その理由というのと支援者数は分かるんですけどその母数というか、分かれば教えていただきたいなと思います。

○委員長（横尾秋洋君） 段下議員。

○委員（段下季一郎君） 最近物価高なので、その物価高をとらえて補正というか、そういうのが今後も続いていくのかなと思うんですけど、その考え方を教えていただきたいと思います。

○委員長（横尾秋洋君） いいですね。次が179ページかな。中学校文化・体育奨励事業。これは公明党さんから出ますね。これでいいですか。坂口議員。

○委員（坂口勝彦君） ここの資料は分かるんですけど。ちょっとここで質問していいかどうか分からないんですけど、その楽器が足りないというかですね、中学校同士でレンタルをし合いながら、そういったところもあるんですけど、ここで活用はできないんですかね。できないんでしょうね。

○委員長（横尾秋洋君） だから学校間の融通ということ。予算が足りない。そういうことを説明してください。

○委員（上村和男君） これは足りないときがあるんですよ。保護者とか、各家庭に支援を求めたりして実際は大会に出てるような、実情もあると聞いておりますので、大丈夫なのかとこれで。こういう実情はこう出して足りていますというならあれですが、実際は足りていないので、足りてるのかって聞いたら、教育委員会が足りてませんって言えば、次は増額せないかとやねってというような議論をちゃんとやっとならいいのかなと思って申し上げておきます。

○委員長（横尾秋洋君） 次は180ページ。読書活動推進事業、辻本議員。

○委員（辻本美恵子君） 学校図書コーディネーターがどのような活動してるのか、ここにも書いてあるんですけど、司書交流会等の企画に関する取組とか、臨時的に学校司書の業務を代行するとか、具体的にコーディネーターが各学校に出かけていってるのは、どれ

ぐらいの時間数をそこに割いてるのか、本来のこのコーディネーターとしての仕事に支障ない範囲でこういうふうな代行をしてるのかという、主には読書活動を推進するための事業全体について、もう一度再確認させていただけたらと思っています。

○委員長（横尾秋洋君） はい。じゃあ次181ページ。

○委員（前田倫宏君） スクールソーシャルワーカーの配置の考え、次年度に向けた取り組みについてお伺いしたいと思います。以上です。

○委員長（横尾秋洋君） これは市民会議も出てますね。段下議員。

○委員（段下季一郎君） スクールソーシャルワーカー、今直営というか市で直接雇ってる部分だと思うんですけども、外部委託を含めて導入する考えはないか、お尋ねしたいと思います。

○委員長（横尾秋洋君） いいですね部長。

次182ページ、コミュニティ・スクール推進事業。西村副委員長。

○副委員長（西村和子君） ここに書いてあることは分かるんですけど、地域の声を聞くと少し状況が違うというような意見もあるので、そこら辺のところを少しご質問させていただきたいと思います。

○委員長（横尾秋洋君） いいですかその内容で。はい183ページ。公明党さん。

○委員（坂口勝彦君） はい。教員の業務効率とか上がって負担軽減になっている今いいことなんですけど、今後の問題点とか、見直すことがあるところがあれば教えていただきたいと思います。

○委員長（横尾秋洋君） 市民会議、段下議員。

○委員（段下季一郎君） 不登校児童生徒の健康診断の状況は保健管理などで一元的に管理するというので、把握したものについて、そういった個別の働きかけですね、そういったことにどうつなげていくのかということをお尋ねしたいと思います。

○委員長（横尾秋洋君） 辻本議員。

○委員（辻本美恵子君） 新規事業で県の肝いりで、取り入れられているので、これの事業効果っていうか、かなりのお金を使っての事業になってますので、このことで、学校の先生たちの時間に余裕ができていっているのかっていう、その辺の把握ですね。一言で言えば、この事業の事業効果を確認させていただけたらと思っています。

○委員長（横尾秋洋君） はい次、184ページ、小中学校スクール・サポート・スタッフ等配置事業。坂口議員。

○委員（坂口勝彦君） この事業の効果のところなんですけど、非常に寄与している、概ね寄与しているってあるんですけど、あまり寄与していないというのが、3.1%少ないけれども、何かあるのかなというところ、ちょっとお聞きしたいと思います。

○委員（辻本美恵子君） 辻本も同じです。長く取り入れられてるスクールサポートスタッフなんですけれども、その事業効果を再度確認させていただけたらと思ってます。

○委員長（横尾秋洋君） じゃあ次行きます。185ページ。学校給食物価高騰対策事業。
辻本議員。

○委員（辻本美恵子君） はい。物価高騰対策事業ではあるんですけども、全体的な学校給食のそのお金のやりとりですね。このところをもう少し考えてみたいなと思っ
ています。助成を行うに当たってどういうふうなお金の流れでいってるのか、最終的に学校給食の公会計化というところの話もさせていただきたいなと思っているので。

○委員長（横尾秋洋君） いいですか部長。はい186ページから187ページ。生涯学習センター管理事業。辻本議員。

○委員（辻本美恵子君） ここに主な映像と音響機材について一覧を出していただ
いてるんですが、今年度起こったことではあるんですけども、ここに見ていただいて分かるように、視聴覚室の映像音響装置一式が平成13年度、これは生涯学習センターができた年だ
と思うので、当初から取りかえが行われていないということで、今年度起こったことで私
が関わる学習会だけで3回、DVDの再生ができなくて、講師に非常にご迷惑をおかけした
ということがありました。

改めてこの13年度から音響装置が全然変わってないというところが、果たして生涯学習センターの他の部屋はともかく、学習会もそうですね。

よく学習会として視聴覚教材を使っている場所の機材が非常に古いというところでこの
ままでいいのかというところで、詳しい資料を求めて確認させていただきました。

改めてその生涯学習センターを今後も市民の皆さんが安心して使えるような状況になる
ようにするにはどうしたらいいのかというところで議論できたらと思っております。

○委員長（横尾秋洋君） 次にいきます。188ページ、自治公民館主事設置補助事業。

公明党さんから出てます。坂口議員。

○委員（坂口勝彦君） これもすごくいい取り組みなんですけど、この公民館の活動を充
実させるためにどのような取り組みをされてあるのかをお尋ねしたいと思います。

○委員長（横尾秋洋君） 部長分かりましたか。190ページ、にほんご教室事業、これは

今までの審査の過程もあると思うのでそういったところも含めて議論させていただきたいと思います以上です。

○委員長（横尾秋洋君） 段下議員。

○委員（段下季一郎君） 今まで出てきたようにあり方ですね、老朽化してるので、もう構造的にエレベーターは難しいって話だったんですが、そうするとエレベーターを建てるってなるとやっぱ億単位とかかかってくるので、要はどうするのかっていう方向性ですねこの事業の実績見て。

○委員長（横尾秋洋君） はい、高原議員。

○委員（高原良視君） 文化会館については100年もたせるという話でしたので、あと五、六十年の分を考えると、あと補修関係とかいろんなものを含めて、先ほど前田議員が言われましたように今後の方向性をしっかりとですね、出させていただきたいというふうに思います。

○委員長（横尾秋洋君） 193ページ。全国大会出場補助事業。前田議員。

○委員（前田倫宏君） おそらく奨励金も関係あるのかなと思って出させていただいたんですけども、先ほどの部分で足りている足りてないという部分があったので、分かれば筑紫地区のそういった部分の状況であるとかですね、あと団体によっては人数も多数になると思うのでそういったところも含めて現状をお聞かせいただきたいというふうに思います。以上です。

○委員長（横尾秋洋君） こんなのは県の補助で出られないかね。

部長、市だけじゃなくて県からも出るのかな。

○教育部長（濱崎博文君） 今ちょっと詳細は分かりかねます。

確認よろしいですか。他市の状況についても質疑があると認識しておいていいですか。

○委員（前田倫宏君） もしよければ、その例えば筑紫野市はこういった例は幾ら出しますよとかあると思うんです。そういった中で比較されるのは筑紫地区だと思ってますのでそこら辺も状況も併せて教えていただけたらいいのかなというふうに思います。

○委員長（横尾秋洋君） 最後の194ページ、指定管理施設維持管理事業、これはつくし野から出ます。前田議員。

○委員（前田倫宏君） こちらに関しても今体育館も議論されているところでもあります。こちらの施設に関しても経年劣化が見られるというところで、つくし学級がこちらにはございます。そういったところも含めて今後の方向性を説明いただけたらなというふうに思

っております以上です。

○委員長（横尾秋洋君） 高原議員。

○委員（高原良視君） 体育協会ですとされていますが、自主的にいくつもの施設されていますが、それに耐えられるのかなど。今から先いろんなものがありましようが耐えられるのかなというふうなちょっと心配もありますが、他所は全部いろんな指定管理はしていますが、会社の方に委託してとか、いろんなケースがあると思いますが、そういうとのちょっと説明も併せてお願いします。

○委員長（横尾秋洋君） 以上で教育部終わりました。お疲れ様でした。

深見部長が入ってきました。挨拶をいただいて、議事に入ります。

深見部長。

○建設部長（深見勝彦君） お疲れ様です。建設部の深見でございます。よろしくお願いたします。

○委員長（横尾秋洋君） 早速195ページ。空家等対策事業。春口議員。

○委員（春口 茜君） セミナーの数は書いてあるんですが、空き家の実際の数と令和6年度の実績、活用サポートセンターの相談内容が分かる範囲でお願いいたします。

○委員長（横尾秋洋君） 部長分かりましたか。

次、196ページ。耐震改修促進事業。辻本議員。

○委員（辻本美恵子君） この耐震改修については、災害対策の1つとして取り上げられているというところでは、この6年度が件数6件、その前が4件だったと思うんだけど、1桁台ですと進行していくと。

大きな災害地震が起こったときに倒壊家屋がどれぐらいあるかっていうのは多分4桁ぐらいの数字が出てたと思うんですね。

今のまま災害対策としての耐震改修促進というふうにはなかなか進まないんじゃないかなというところで、もう少しスピードアップした形での事業にならないのかというところで、議論したいなと思っております。

○委員長（横尾秋洋君） 部長分かりましたか。197ページ、交通安全施設整備事業。市民会議から出てます。これはこれでいいですか。上村議員。

○委員（上村和男君） これお願いします。把握してる危険箇所、そういうものがあってそこに対して整理してあるとすれば、それが追いついていないのか追いついているのかどうかですね。決算ですから、議論をしたいと思えます。

○委員長（横尾秋洋君） 次は198ページ。天拝公園周辺整備事業。これでいいですね。

199ページ、市営鷺田川周辺治水対策事業。辻本議員。

○委員（辻本美恵子君） これは地下河川ができてから二日市の地域が非常に浸水もなくなって、それから見てその対象外のところでの浸水被害を軽減するために治水対策を行うところで事業が始まっていると思うんですが、事業実績として地図とエリアだけ書いてあるだけで、具体的にはどういうことなのか。浸水被害を軽減するためにどういうふうなことがこれから行われていくのかが少し分かるように説明いただいて、さらにここに力を入れて市内全体のこの二日市全体の浸水被害を防げるのかというところを見ていきたいなと思うんですけど。

○委員長（横尾秋洋君） 次のページ。放置自転車対策事業、春口議員。

○委員（春口 茜君） 放置自転車の定義というか、何年放置されたか、その期間があるのかをお伺いしたいなと思います。

○委員長（横尾秋洋君） 簡単に説明してもらったらいいいですね。

次行きます。201ページ自転車駐車場使用料助成事業。公明党さんから出てます。

いいですかこれで。

大門高架下駐車場管理事業。これでいいですね。

部の入れ替えです。

平嶋部長が来ました。挨拶をしていただきます。

○環境経済部長（平嶋顕治君） 皆さんお疲れ様です、環境経済部長平嶋です。よろしくお願ひします。

○委員長（横尾秋洋君） 203ページ。一部事務組合への負担金の推移、市民会議からです。これではいけませんか。辻本委員。

これをいつもの通りですね、毎年出てきてます。

次、205ページ。段下議員

○委員（段下季一郎君） これ入札やっているとすけども、特許を使っていると思うんですよこの燃えるごみの袋。その点も含めて、入札の件についてちょっとお尋ねしたいと思います。

○委員長（横尾秋洋君） 次に206ページ。リサイクル量と売却益、辻本さん。

○委員（辻本美恵子君） 上の3つ併せてゴミの焼却について議論したいと思っています。

○委員長（横尾秋洋君） 次は207ページの環境課一般事務事業。これはいいですね。

208ページの新エネルギー設備普及事業。市民会議と公明党さんから出てます。辻本議員

○委員（辻本美恵子君） 新エネルギー設備の普及事業の元をたどれば、CO2削減っていうか、そういうところに地球温暖化の問題のところに戻っていくんですけども、そこから考えると、その再生可能エネルギーの普及を図るには、事業だけでいいのか、今の決算の状態でこれなんですけれども、これをさらにその有効な上位計画を推進していくためにはこのこのぐらいでいいのかどうかという視点で、議論できたらと思っています。

○委員長（横尾秋洋君） 209ページ、外来生物等駆除事業。吉村議員。

○委員（吉村陽一君） この決算額はアライグマ殺処分量しか書いてないんですけども、このセアカゴケグモとかあとキンケイギクとか、新しい外来生物で、ツマアカスズメバチとかそういったものもあったと思うんですけど、そういったところどうなってるのかというのをちょっとお伺いしたいと思います。

○委員長（横尾秋洋君） 次、210ページ。愛護動物対策事業。西村副委員長。

○副委員長（西村和子君） 助成金を出してもらって、地域ではすごく助かっていると思うんですけど、この丸の上と下との違いが、使い分けなのかっていうのと、成果としてどういうことがあったかっていうことと、課題について伺いたいと思います。

○委員長（横尾秋洋君） 211ページ、次行きます。ごみ収集事業、公明党さんから出てます。これでいいですね。

次は212ページ。古紙集団回収奨励事業。西村副委員長。

○副委員長（西村和子君） 資料有り難く拝見してはるんですが、新聞購読数が減ってるっていうことで減ってるのは分かるんですけど、他の項目も減ってるので、この要因をどういうふうに把握されているのかっていうのと、もっと啓発が必要ではないかと思うのでそのあたりをどんなふうにお考えなのかお尋ねいたします。

○委員長（横尾秋洋君） 次、213ページ。有害鳥獣対策事業。八尋議員。

○委員（八尋一男君） これは説明お願いいたします。

○委員長（横尾秋洋君） 214ページの農業次世代人材投資事業。檜木議員。

○委員（檜木孝一君） これも説明をお願いいたします。主に終わった後のフォロー体制、人材育成に向けてのフォロー体制の必要性辺りをお尋ねしたいというに思っております。

○委員長（横尾秋洋君） 215ページの農村環境整備事業。楢木議員。

○委員（楢木孝一君） 農業負担金条例に基づきまして、地元負担金が10分の1、あります。これが農業をやめる方とか等によりまして、分母がどんどん減っていております。そういった中で将来に向けて改善していかなきゃいかんという、改善の余地があるんじゃないかということで問題提起をしたいというに思っております。

○委員長（横尾秋洋君） 次は216ページ、217ページ。これは農村地域防災減災事業。これは資料でいいですね。

218ページ、219ページの荒廃森林整備事業。市民会議と公明党から出てます。

辻本議員。

○委員（辻本美恵子君） 先祖から引き継いだ大事な森林資源というところで、この町の森林を守っていくというところと先ほども言いました、CO2削減というか、地球温暖化のためにその森林の面積が非常に寄与するということでは、市としてももう少し取り組むべき事業かなと思っていますので、そのことと、次の森林環境譲与税については、地方への計算方法が変わってきたということで、森林面積の割合が5%増えてるので、やっぱり森林持ってるところは、森林整備をもう少しやっていった方が、結果として譲与税も少し増えていくというところで、同じ森林を持つんであればそんなふうな全体としての森林整備計画で進めるのがいいんじゃないかなというところで話ができたかと思っています。

○委員長（横尾秋洋君） いいですね。次に221ページ。中心市街地活性化補助事業。これも市民会議ですね。春口議員。

○委員（春口 茜君） 実績が出てるので、効果が分かれば教えていただけたらと思います。

○委員長（横尾秋洋君） 222ページ、空き店舗対策補助事業。これは市民会議、つくし野から出てます。前田議員。

○委員（前田倫宏君） 要綱でエリアが選別されてますけれども、今後の展望というところで、筑紫野市全域を対象とした考えはないのかということも含めてお伺いしたいと思います。

○委員長（横尾秋洋君） 223ページから224ページ。経済対策事業住宅改修工事補助事業。これはつくし野と市民会議から出てます。段下議員。

○委員（段下季一郎君） 省エネ改修工事の実績が8件ということで、温暖化対策を進めていくにあたって、ここをかなり強化しないといけないんじゃないかという点についてお

尋ねしたいと思います。

○委員長（横尾秋洋君） 辻本議員。

○委員（辻本美恵子君） この事業は始まったときから非常に市内の事業者の方にも好評で、もちろん市民の方もこれがあることで、住宅の改修などに取り組みられる方が非常に多いわけで、年々増やしていただいているということがあるんですが、一般財源をつぎ込んだ割には経済効果が非常に大きいのに10倍近くなるときもあるわけで、これをもう少し増やし、筑紫野市の大きな事業者支援ということとし、市民支援というところで拡充していくことができないかどうかという視点で議論できたらと思っております。

○委員長（横尾秋洋君） いいですね、部長。

次に225ページ。地域活性化商品券補助事業、つくし野、市民会議から出てます。

前田議員。

○委員（前田倫宏君） キャッシュレス商品券、ちくしのペイが主流になってきたかと思えます。そうした中で、やはり利用日数にも制限があつて、今後の展望を、利用者からすると期間は長い方が利用率も上がると思えます。そうした中で、当地域活性化商品券事業の充実も図れると思っておりますので、そういった視点でちょっと伺いたいと思っております。

○委員長（横尾秋洋君） 226ページいきます。観光施設管理運営事業、これは市民会議とつくし野から出てます。上村議員。

○委員（上村和男君） みんな共通した問題意識を持つてると思いますが、ずっとあそこの市民ホールがみずぼらしいなんていう、最近エアコンみたいなのが入ってますけれども、やっぱりどうかと思うところがあるので、こういう取り組みを通じてどういう状況がつかられて、今後の課題をどんなふうにかつちゅうのを質したいのでよろしいでしょうかね。

○委員長（横尾秋洋君） 春口議員。

○委員（春口 茜君） 主にそういった内容を伺おうと思ってるんですけど、この委託料384万円でこの委託内容なのかなっていうのをもうちょっと詳しく伺いたと思います。

○委員長（横尾秋洋君） 227ページですね、二日市温泉活性化事業。市民会議から出てます。段下議員。

○委員（段下季一郎君） 利用率が18.2%ということで、ちょっと低迷してるということで、博多湯については民間なのでこれ以上言えないと思うんですけど、御前湯について

は、せっかくタンクが直ったので、その招致という意味も含めて割引券というよりも、これ無料券で1回配ってみてもいいんじゃないかなと思ってたんですけども、その点についてちょっと聞いてみたいと思います。

その分補助して、そういう形にできないのかなと思ってですね、要はこの18.2%の利用率とかを考えると、市の債権もちょっと入れて、無料券みたいな感じにして財産区の方は収入が減らないように、調整するというかですね、何かそういったことを考えられないのかなと思って、そのタンクがせっかく直ったので、ずっと閉まっていたからですね。

○委員長（横尾秋洋君） それまで含めて説明して行ってくださいね。

それから228ページの最後ですねこれ。これはこれでいいですか。

最後ですね。4番目の金額大きい委託業務の金額ということで、18ページを開けてください。金額が大きい委託業務の金額。田中議員どうします。財政課で調べてから、答えてもらえますか。分かる範囲でお願いします。

事務局で整理してもらいましょうかね。どこを削除したかを。

○議会事務局主事（井形光介君） では、削除した項目のナンバーを読み上げさせていただきたいと思います。資料1をご覧ください。No.1、2、3、5、6。次のページです。13、15。次のページです。34。次のページです。40、44、48。次のページです。49。次のページです。64、65、66、67、72、73。次のページです。78、82、87。次のページです。90。次のページです。111。次のページです。114、115、120、124。次のページです。129、138。

以上でお間違いないでしょうか。

○委員長（横尾秋洋君） これで受け付けするとすれば、集中審査でちょっとスピードアップしてやっていきますから、質問するときに要領よく説明して行ってくださいね。

そうしないと、この日程で終わりそうもないと思いますので、議事進行に協力をしていただきたいと思います。

では29項目削除したことでよろしいでしょうか。いいですね、ご異議ありませんか。

ご異議なしと認めます集中審査事項の抽出結果に基づき、審査日程案を作成し、10日金曜日の本特別委員会において、令和6年度一般会計歳入歳出決算審査各部各科集中審査日程表案を配布することといたします。

これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

ご異議なしと認めます。

それでは本日の決算審査特別委員会はこれで散会します。

お疲れ様でした。

散会 午後0時25分